

対象植物の範囲

本基準案は、ゴマノハグサ科 (Scrophulariaceae) のペンステモン属 (*Penstemon* Schmidel) を対象とする。

特性審査基準
(1)特性審査基準

重要な形質	番号	形質	定義	調査方法	状態又は区分	階級	標準品種	備考
草型	1	草型	茎の伸長方向	観察 図1	直立 斜上 平伏	1 2 3		(直立) (横張) (匍匐)
	2	草丈	開花時の草丈	測定 (cm) 図2	低 中 高	3 5 7	ヘブンリーブルー	
	3	茎の太さ	茎中央部の太さ	測定 (mm) 図2	細 中 太	3 5 7		
茎の色	4	茎の色	茎の緑色部の色	観察	淡緑 緑 濃緑 灰緑	1 2 3 4	ヘブンリーブルー	
	5	茎のアントシアニンの着色の有無	茎のアントシアニンの着色の有無	観察	無 有	1 9		
	6	茎のアントシアニン着色部の色	茎のアントシアニン着色部の色	観察	淡 中 濃	3 5 7		
茎の毛の多少	7	茎の毛の有無	茎の毛の有無	観察	無 有	1 9		
分枝性	8	分枝数	第1次分枝数	測定 (本)	少 中 多	3 5 7		
節間長	9	節間長	茎中央部の5節間の長さ	測定 (cm) 図2	短 中 長	3 5 7	ヘブンリーブルー	
葉形	10	茎基部の葉形	茎基部の葉身の形	観察 図3	線形 披針形 倒披針形 狭楕円形 楕円形 三角状卵形 卵形 倒卵形 円形	1 2 3 4 5 6 7 8 9		
	11	茎中央部の葉形	茎中央部の葉身の形	観察 図3	線形 披針形 倒披針形 狭楕円形 楕円形 三角状卵形 卵形 倒卵形 円形	1 2 3 4 5 6 7 8 9		
	12	葉縁の形	茎中央部の葉の縁の形	観察 図4	全縁 とげ状 細鋸歯 鋸歯 重鋸歯 歯牙	1 2 3 4 5 6		
	13	葉の基部の合着	茎中央部の葉の基部重なるの程度	観察 図5	離れる 接する 重なる	1 2 3		

重要な形質	番号	形質	定義	調査方法	状態又は区分	階級	標準品種	備考
葉の大きさ	14	葉長	茎中央部最大葉の長さ	測定 (cm)	短 中 長	3 5 7		
	15	葉幅	茎中央部最大葉の幅	測定 (cm)	狭 中 広	3 5 7		
葉色	16	葉の光沢	葉の光沢の有無	観察	無 有	1 9		
	17	葉色	葉表面の緑色部の色	観察	黄緑 淡緑 緑 濃緑 灰緑	1 2 3 4 5	ヘブンリーブルー	
	18	葉のアントシアニンの着色の有無	葉のアントシアニンの着色の有無	観察	無 有	1 9		
	19	葉のアントシアニン着色部の色	葉のアントシアニン着色部の色	観察	淡 中 濃	3 5 7		
	20	葉の斑の有無	葉の斑の有無	観察	無 有	1 9		
	21	葉の毛の有無	葉の毛の有無	観察	無 有	1 9		
花房又は花穂の形	22	花穂の長さ	花穂の長さ	測定 (cm) 図2	短 中 長	3 5 7	ヘブンリーブルー	
	23	花穂着花段数	花穂段数	測定 (段)	少 中 多	3 5 7	ヘブンリーブルー	
	24	花柄の毛の有無	花柄の毛の有無	観察	無 有	1 9		
花の向き	25	花の向き	花の向き	観察 図6	下向き 横向き 上向き	1 2 3		
花形	26	花冠の形	花冠側面の形	観察 図7	鐘形 漏斗形 管形	1 2 3		
	27	上唇弁の向き	上唇弁の向き	観察 図8	上向き 斜上 水平	1 2 3		
	28	下唇弁の向き	下唇弁の向き	観察 図8	水平 斜下 下向き	1 2 3		
花の大きさ	29	花の縦径	花の縦径	測定 (cm) 図9	小 中 大	3 5 7		
	30	花の横径	花の横径	測定 (cm) 図9	小 中 大	3 5 7		
	31	花の長さ	花の長さ	測定 (cm) 図9	短 中 長	3 5 7		
	32	花筒部の長さ	花筒部の長さ	測定 (cm) 図9	短 中 長	3 5 7		
	33	花筒部の太さ	花筒部の径	測定 (mm) 図9	細 中 太	3 5 7		

重要な 形質	番号	形質	定義	調査 方法	状態又は区分	階 級	標準品種	備考
花の大きさ	34	上唇弁の長さ	上唇弁の長さ	測定 (mm) 図9	短 中 長	3 5 7		
	35	上唇弁の幅	上唇弁の幅	測定 (mm) 図9	狭 中 広	3 5 7		
	36	下唇弁の長さ	下唇弁中央裂片の長さ	測定 (mm) 図9	短 中 長	3 5 7		
	37	下唇弁の幅	下唇弁中央裂片の幅	測定 (mm) 図9	狭 中 広	3 5 7		
花色	38	上唇弁の色	上唇弁の色	JHSカラーチャートの 色票番号による				
	39	上唇弁の模様の 有無	上唇裂片の模様の有無	観察	無 有	1 9		
	40	上唇弁の模様	上唇裂片の模様の種類 (複数選択可)	観察 図10	1型 2型 3型 4型 5型 6型 7型 8型	1 2 3 4 5 6 7 8		
	41	上唇弁の模様の色	上唇弁の模様の色	JHSカラーチャートの 色票番号による				
	42	下唇弁の色	下唇弁の色	JHSカラーチャートの 色票番号による				
	43	下唇弁の模様の 有無	下唇弁～喉部～花筒内面 にかけての模様の有無	観察	無 有	1 9		
	44	下唇弁の模様の 種類	下唇弁～喉部～花筒 内面にかけての模様 の種類 (複数選択可)	観察 図10	1型 2型 3型 4型 5型 6型 7型 8型	1 2 3 4 5 6 7 8		
	45	下唇弁の模様の色	下唇弁～喉部～花筒内面 にかけての模様の色	JHSカラーチャートの 色票番号による				
花卉の 形	46	花筒部外面の色	花筒部外面の色	JHSカラーチャートの 色票番号による				
	47	上唇弁先端の形	上唇弁先端の形	観察 図11	突形 鋭尖形 鋭形 鈍形 円形 切形 凹形	1 2 3 4 5 6 7		

重要な形質	番号	形質	定義	調査方法	状態又は区分	階級	標準品種	備考
花弁の形	48	下唇弁先端の形	下唇弁先端の形	観察 図11	突形 鋭尖形 鋭形 鈍形 円形 切形 凹形	1 2 3 4 5 6 7		
	49	花冠外側の毛の有無	花冠外側の毛の有無	観察	無 有	1 9		
	50	上唇弁の毛の有無	上唇弁の毛の有無	観察	無 有	1 9		
	51	下唇弁の毛の有無	下唇弁～喉部にかけた毛の有無	観察	無 有	1 9		
	52	下唇弁の突起の有無	下唇弁の突起の有無	観察 図12	無 有	1 9		
がくの形	53	がくの毛の有無	がくの毛の有無	観察	無 有	1 9		
	54	がく裂片の反転の程度	がく裂片の反転の程度	観察 図13	無又は極小 小 中 大 極大	1 3 5 7 9		
がくの色	55	がくのアントシアニンの着色の有無	がくのアントシアニンの着色の有無	観察	無 有	1 9		
雌雄ずいの形	56	仮雄しべの毛の有無	仮雄しべの毛の有無	観察 図14	無 有	1 9		
雌雄ずいの色	57	葯の色	葯の色	観察	黄 黄褐 桃 赤紫 紫 紫褐 黒褐	1 2 3 4 5 6		
	58	仮雄しべの色	仮雄しべの色 (濃色部の色)	観察	白 黄 桃 紫 青	1 2 3 4 5		
	59	仮雄しべの毛の色	仮雄しべの毛の色	観察 図14	白 黄 オレンジ 褐	1 2 3 4		
花柄の長さ	60	花柄の長さ	最長花柄の長さ	測定 (cm) 図15	短 中 長	3 5 7		
1花房又は1花穂の花数	61	1花房の花数	1花房の花数	測定 (個)	少 中 多	3 5 7		
開花期	62	開花の早晩	開花の早晩	測定 (月旬)	早 中 晩	3 5 7	ヘブンリーブルー	

標準品種名

ヘブンリーブルー
(Heavenly Blue)

学名

P. heterophyllus

(2)特性審査基準参考図



図1 草型(形質1)

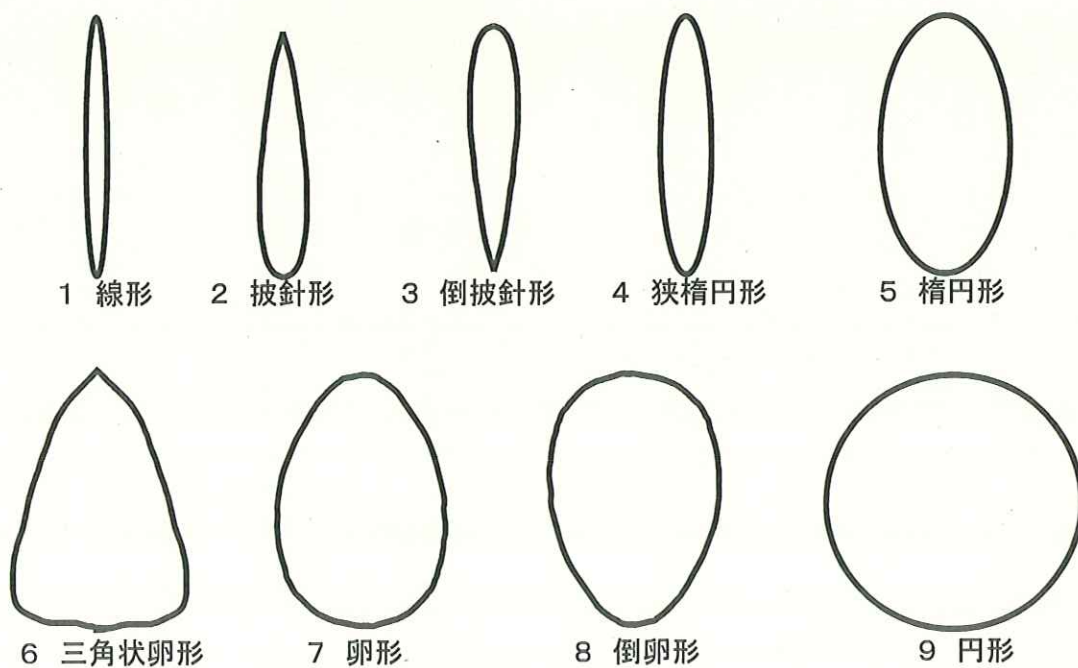


図3 葉形(形質10、11)

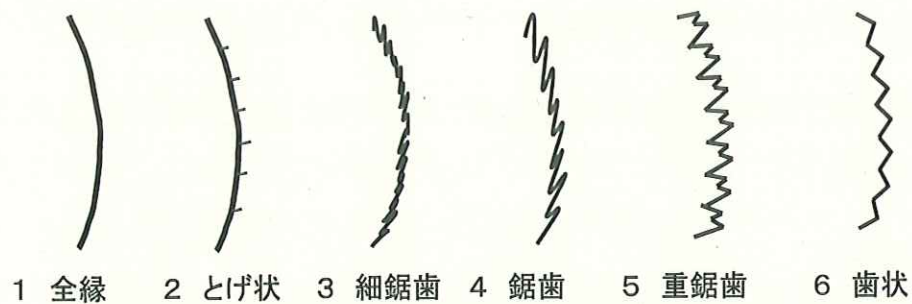


図4 葉縁の形(形質12)



1 離れる 2 接する 3 重なる

図5 葉の基部の合着(形質13)



図6 花の向き(形質25)

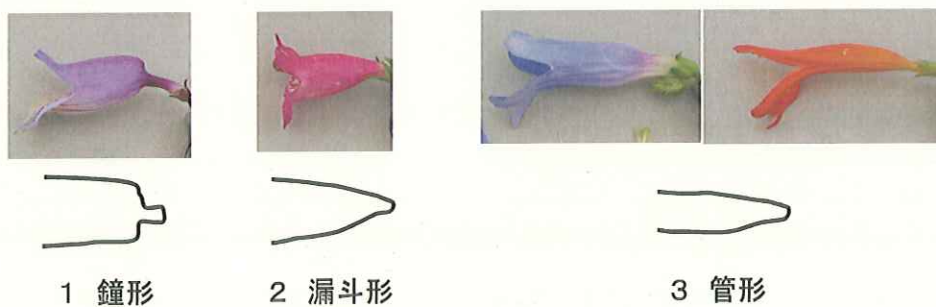


図7 花冠の形(形質26)

図8
上下唇弁の向き
(形質27、28)

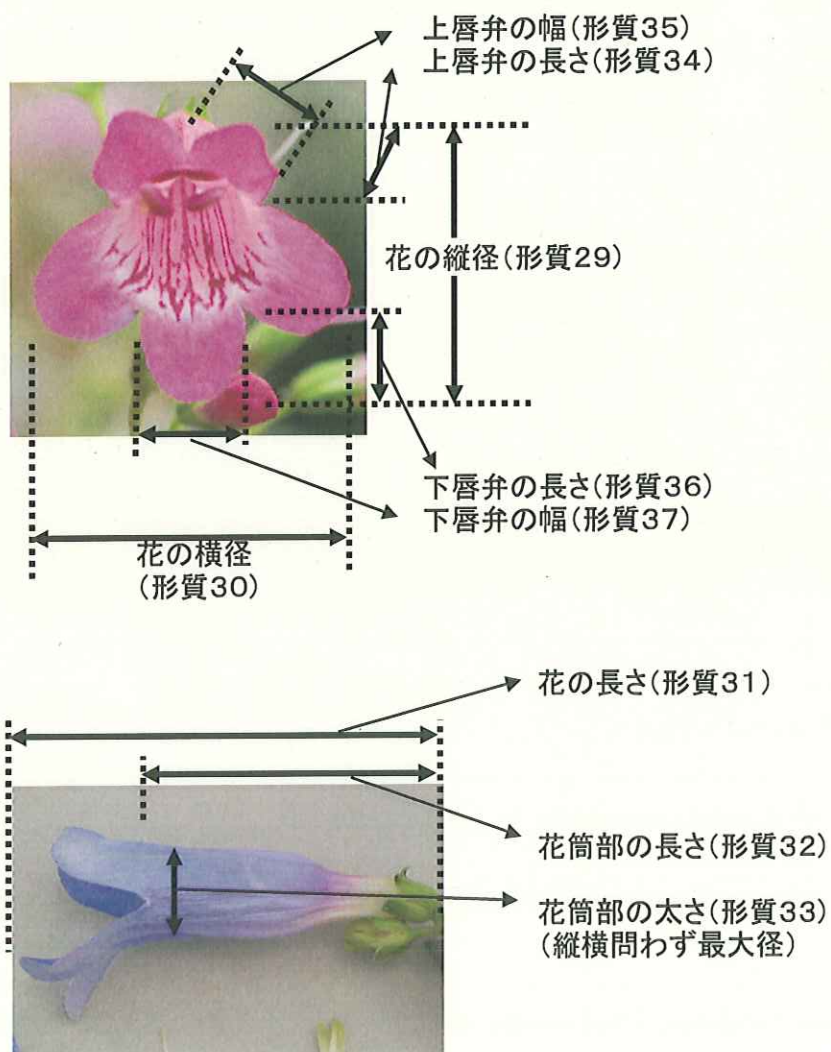
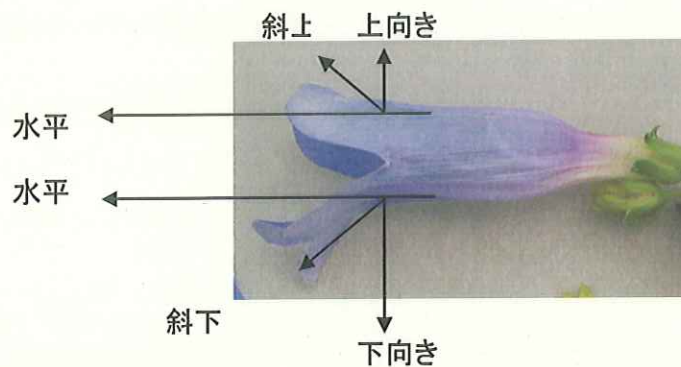


図9 花の大きさ(形質29~37)

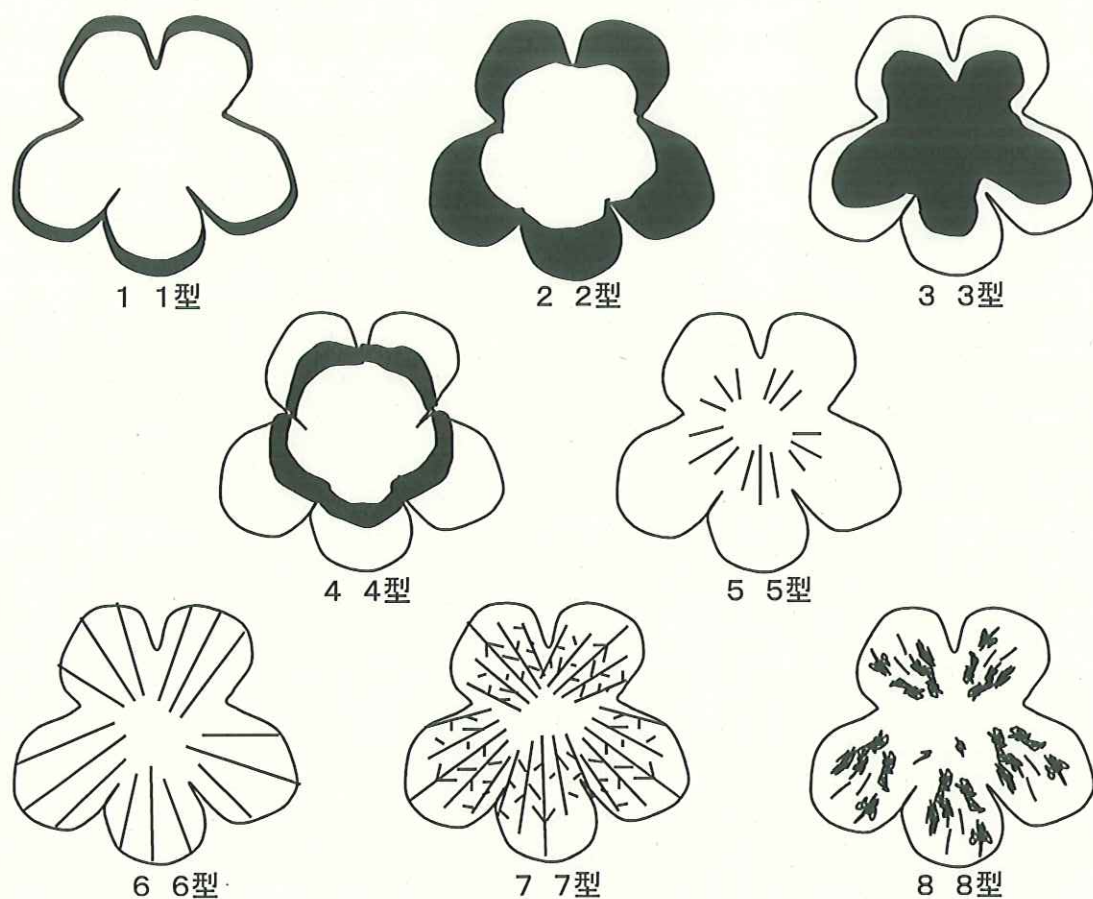


図10 上下唇弁の模様(形質40、43)

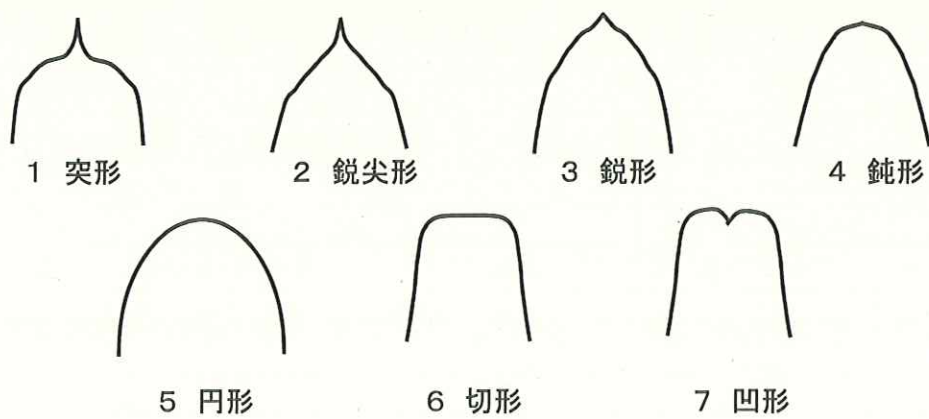
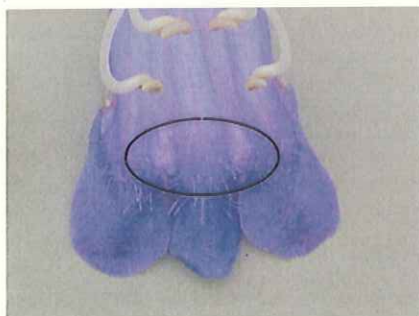


図11 上下唇弁先端の形(形質46、47)



9「有」

図12 下唇弁の突起の有無(形質51)



3 小



5 中

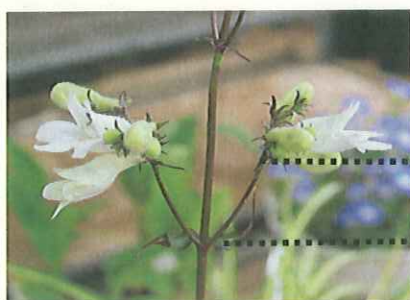


7 大

図13 がく裂片の反転の程度(形質53)



図14 仮雄しべの毛(形質55、58)



花柄の長さ

図15 花柄の長さ(形質59)

特性検定のための栽培試験方法

(1) 耕種概要

- ・ 作型 施設鉢栽培

<種子繁殖性品種>

播種 9～10月 発芽適温 20℃

<栄養繁殖性品種>

挿し芽 9～10月 天芽挿し

- ・ 鉢の大きさ 4号
- ・ 用土 一般園芸培養土（水はけのよいもの）
- ・ 摘心等 （4～5節残し）1回ピンチ
- ・ 施肥 生育状況に応じ、液肥を適宜施用
- ・ 温度管理 冬期は凍らせない程度に保温

- (2) 供試個体数
- | | |
|---------|-----|
| 栄養繁殖性品種 | 20株 |
| 種子繁殖性品種 | 50株 |

- (3) 調査時期
- 播種／挿し芽翌年（5～7月）の開花期（開花が始まった株が50%以上になった頃）。

花に係る形質にあつては、最下段の花の終わった時の上部開花花序の第1花（開葯直前～直後）の花を調査対象とする。

- (4) その他
- 冬期の温度が高いと、常緑となり（落葉せず）生育不均一となりやすい。
多湿にならないように灌水は控えめとする。